

ぜんこうもくひょう  
全校目標 『**GROW UP!**』 ~みんなとそだてるココカラの木

ココカラウィークニュース

だい かい  
第1回テーマ「じぶんも ともだちも たいせつだ!」です。 (期間：7月12日～16日)



2号に引き続き、本号では、ウィークを含む1学期の中学部の実践について報告します。  
 中学部の取り組みから見たのは、学習の幅が広がるということでした。これは、中学生という時期が発達段階に関わらず、その子の興味関心が広がり、特に友だちを含む他者へ大きく広がるということを意味しています。また、マナーや身体だけにとどまらず気持ちについての客観的な学びが増えています。自分を客観視するためには、自分の感情や他人の気持ちを言語化する力が必要です。また、そうすることでより人とのつながりを整理することができます。こうした、気持ちを言語化し向き合う学習は、小さな頃から積み上げてきた安心できるひととの関わりや多くの体験や経験があるからこそできるのだということが見えてきました。

ちゅうがくぶ  
中学部

1年生

自立活動・国社外・道徳・数理・HR・体育などで、「手洗い・歯磨きの仕方」から「性別」「男女」「水着の更衣の仕方」「体の違い」「体の名称」「知らない人に声をかけられたら」「清潔チェック」「人を好きになること」「私」「友達の良いところ」「人体の不思議」「洗顔・化粧水」「濡れた髪の毛の始末」について実施しました。

特に中学生という年齢から、著しい体の変化と向き合う時期です。「人体の不思議」や「男女」「性別」などについては、これまでの何となくの理解から、より正確に知り、その上で互いを尊重する姿勢を育むための基礎作りになります。また、清潔学習については、これまでの衛生的なことにとどまらず、他者から見て清潔感があって気持ち良いといった視点への配慮も必要になってきます。「洗顔」「化粧水」「濡れた髪の毛の始末」などはそうした視点からの大切な学習です。今後社会に出る機会が増え、いずれは多くの他者と働き始めることを見据えると、中学部の内から少しずつこうした学習を進めるのはとても大切なことです。

2年生

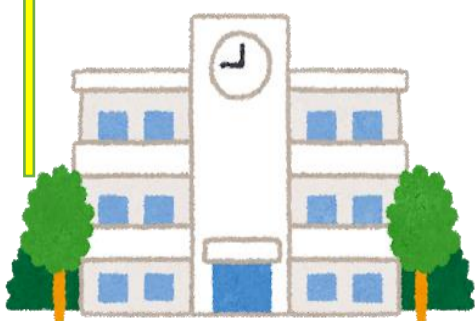
特別活動・保健体育などで「入浴学習」「手洗い」「水泳学習に関する着替えのマナー」「健康調査」「健康アンケート」などの学習を実施しました。

健康調査やアンケートなどは、自分の体調について客観的に見つけたり、日常生活の中でできる運動を意識化したりするなど、自己管理につながる大事な学習です。「じぶんもともだちも大切だ」というテーマの通り、他者を大切にしようと思えるためには、まず自分を大切にすることの意味や、その心地よさを知っていなければなりません。

3年生

自立活動・道徳・数理・家庭などで、「手洗い・うがい」「マスクのつけ方」といった基本から、少し発展させて「風邪について」。また、「挨拶・呼びかけ」「良いタッチ・悪いタッチ」「ふわふわ言葉・チクチク言葉」など心に関する学習や「受精・発生」「人の誕生・成長」「車いす体験」など幅広い学習を実施しました。

特に車いす体験や赤ちゃん人形を使った人の誕生・成長などについては、わかりにくい他人の気持ちや想像しにくい将来像について、具体物を使って体験することで感じてみることで学習できます。つい言葉に頼りがちな学習場面でも、こうした様々な教材教具を使用することで、より分かりやすく学ぶことができます。「他人を大切にするにはまず自分を」と言われますが、他人と自分を重ねて考えたり、他人の立場になって考えたりするためにはこうした体験型の学習はココカラ学習には欠かせません。



がっこう  
学校ホームページに  
カラー版あります!